

希望は心の太陽である

1. 一生に二度と出くわすことの出来ぬ仕事(ロータリー活動)だから希望をもつのである。(ロータリアン一人一人が希望を持ちましょう！)
 2. 天から与えられた命、親からいただいた体、世界にたった一つのこの肉体だから、その前途にもえるような希望をもつのである。
(日々、もえるような希望を持ちましょう！)
 3. さわやかな希望の薫風(かぜ)で吹きはらおう、燈火を明るくしましょう。
そして高く掲げよう。燈(ひ)を太くしただけ、高くかかげただけ、必ず前途は打ち開ける。
(ロータリー活動が希望となり、関わった人々の心が太陽のようになる！)
- ※うまく行かぬから、望みを失うのではない。
望みをなくすから、崩れて行くのである。
※太陽の光と熱とが無限であるように、希望はいくら燈しても尽きる日はない。
※希望は、常に若々しい。 希望は、永遠の光である。

認知と理解

- 「認知」は、物事をはっきりと認めること。
「理解」は、物事の意味や内容が正しくわかること。
受け入れる「認知」と、把握する「理解」の違いです。
ただし「理解」には、相手の気持ちなどをくみとるという意味もあります。

大使とは

- ・精通しているロータリアン
- ・相手の人や団体と情報交換ができるロータリアン
- ・相手の人や団体の発展を支援するロータリアン

スキル

1. 高い語学力
2. 情報発信力
3. 判断力
4. 異文化への深い理解
5. 柔軟な交渉力
6. 意思力

平和とは

今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は 7000 万人。その半数が子どもです。

このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

平和な環境をつくるロータリー

人道的組織として、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じ、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

ロータリーは、新たな課題に応えるために平和構築へのコミットメントを高めています。ロータリーが未来にインパクトをもたらすには何ができるか、持続可能な変化を目指すロータリーのビジョン声明をどのように実現できるか、といった課題に取り組むべく、ロータリーは「平和構築」の定義をさらに広げ、より多くの人々が平和構築に参加できる方法を見つけることで、団結と幅広い参画による平和という概念に基づくアプローチを取っています。

ロータリーは、平和が可能となる環境を築いています。

メンタルヘルスとは

全世界で2億6400万人以上がうつ病に苦しんでいます。

精神疾患には効果的な治療法があるにもかかわらず、低・中所得国の76%～85%の人がこれらの疾患への治療を受けていません。

全世界の15～29歳の死因として2番目に多いのは「自殺」です。

うつ病と不安神経症が世界経済に及ぼすコストは、年間1兆ドルにのぼります。

自殺による死亡数は、年に80万件にのぼります。

メンタルヘルスの問題は、特に人道的危機の影響を受けた人びとに共通して見られます。 出典：WHO

「社会的な烙印を押されるメンタルヘルスの分野は、これまでずっと多くの人から無視されてきました。ロータリークラブの取り組みによって、この烙印が徐々に弱まり、抵抗を抱く人が少なくなってきました」

「メンタルヘルスの問題を無視すれば、社会が大きなつけを払うことになりま。病気の人がサポートを受けることは、人権なのです」